



佐藤さんが働いている会社は

会社名：株式会社basic
はっぴーらいふ接骨院
住所：所沢市小手指町3-17
西武ショッピングプラザ
小手指ハイイツN棟1F
HP：http://happysmile-g.com/

はっぴーらいふ整骨院は、整骨院と整体院の良さを組み合わせ、皆様の症状を根本から良くする、新しいスタイルの治療院作りを目指した接骨院です。



社会人として輝く人々を紹介するコーナー。
世の中の多くの職業を知って、輝く将来を描こう！

Q1 この仕事に就いたきっかけは？

子どもの頃は野球選手、スポーツ選手になりたいという夢がありました。しかしそんな夢を持つ人をサポートしたい、その人の夢を携わりたいと考えるようになり資格を取り、学生時代にアルバイトをしていました。さわ接骨院で働かせていただくことになりました。その理由は、さわ接骨院のアップホームさと、社長である澤先生の「やってみればできるんだ、やってみないんじゃなくてやってみないんだろっ」という考え方に惹かれたからです。

Q2 今の目標はありますか？

私個人の売上だけでなく、目先の目標ももちろんあります。しかし、まずは身近なスタッフが働きやすい職場環境を作り、楽しく仕事をしてもらうことを常に一番に考えています。また、これから自分について来てくれる後輩に仕事を教えられるよう、まずは自分が行動し、結果を残していきたいです。そして自分が現場に立たなくても、後輩が自分の分身となって結果を残してもらうことが目標ですね。自分のお店を新たにしたいという夢もあります。しかし、遠回りをしても夢は叶えられないと考えているので、今はこの会社を大きくし、その上に自分が立ち、結果を出すことで後輩に背中を見せていきたいと思っています。

Q3 院長になってから壁はありましたか？

今までの仕事との責任感が大きく違い、壁だらけでした。しかし、それを壁と思っただけではありません。課題と思い、それは避けては通れないものだと。また、一人で課題を達成することは無理だと考えています。スタッフや患者さんの支えや応援があったからこそ乗り越えることができたと思います。やりたいことは自分一人では無理で、家族がいて周りのスタッフがいて、叶えることができそうです。そして、夢を語る仲間も必要だと思っています。共感しあいながらもふさげあつ事のできる、オンとオフのある仲間がいることは素晴らしいと思いますよ。

Q4 学生にメッセージ

自分に向いているのかどうか、できるのかどうか、というのは分からないものです。それをやるのは根拠のない自信であって、迷わなくて大丈夫です。まずは自分のことを信じてあげることが大切ですね。向いている、向いていないではなくて好きか嫌いかで考えています。ちなみに、僕の強みは負けず嫌いなところです。誰にでも自分しかできないことがあります。自分だからできるという感覚を持つことも大切かもしれませんね。ここで今自分がやらなかったら誰がやるの？自分だと常に言い聞かせて、仕事と向き合うようにしています。

株式会社入江感動経営研究所
綿引志帆さん



綿引さんが働いている会社は

会社名：入江感動経営研究所
住所：朝霞市西原1-5-8
ビオス北朝霞702
HP：http://irie-kando.com/

入江感動経営研究所は、福祉経営コンサルティングや人材育成のための教育研修を通して、福祉に携わる人々を幸せにしている会社です。



Q1 今のお仕事に出会った経緯と選んだ理由を教えてください。

学生の頃、起業したいと思い、社会起業家（社会の問題に対してビジネスで解決する人）を目指していました。色々なことに挑戦しましたが、自分にはまだまだ力が足りないことを痛感し、勉強が必要であると感じました。そこで、起業を志す学生のためのインターンに参加したところ、弊社の理念に共感し、インターンを希望しました。半年ほど活動が続けていたときに、社長に声をかけていただき、現在に至ります。

Q2 綿引さんにとって「福祉」とは？

知的な障碍を持つお子さんとお母さんが机の上に小銭を上げ、「この中で一番大事なお金は何？」とお金の数え方を教えていました。私は当然のように50円玉と答えたのですが、10円玉でお父さんと話せるから...と答えました。この子にとって一番大事だったことは、物をたくさん買っただけではなくお父さんと話せることだったのです。このことから、いつの間にか私はこの概念にとらわれていたのだと感じました。私たちが忘れていた、見落としていた視点を思い出させてくれるのが福祉なのだと思います。

Q2 これまでで人生が変わったような出会いがありましたか？

はい、二人いました。一人目は60代の女性で、

第一印象からオーラをとても感じた方でした。その方に名前を呼ばただけで愛されていると感じ、私もそのような人になりたいと思いました。

二人目は、就活の際に落ち込んでいた私の相談に乗ってくれた年上の友人でした。アドバイスをもらっても、何度も落ち込む私を見捨てず、いつも笑顔で励ましてくれました。だからこそ、私も友人のように、何度でも誰かを励ますことができる人になりたいと思っています。

Q4 学生時代を振り返って、今の学生たちにアドバイスはありますか？

一つあります。一つ目は「比較をしないこと」です。一人一人生きてきた過程は違うのだから、自分の中の素晴らしいところをもっと気付いて欲しいです。焦ったとき程、自分を見つめ直し、自分の中の軸をより強いものにするチャンスです。自分のことは自分が一番大事にしてあげてください。その強い軸で、もう一度会いたいと思われるような人間力をつけることが大切だと思います。二つ目は「不安にならないこと」です。今嫌いなこと、苦手なこと、コンプレックスだと思っていることはいつか強みになると思うからです。視野を広くして何かにとらわれないようにして欲しいです。「何かこういうことがしたい」というものを持つだけでなく大丈夫だと思います。それよりも、自分はなに価値を置いているのかをしっかりと考えることが大切だと思います。